

東京の繭から生まれた

第9回

# 東京シルク展

とき 2013年10/25(金)～27(日) 10:00～17:00

ところ 東京農工大学科学博物館

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16 TEL042-388-7163

かつて皇居紅葉山御養蚕所とも深く関わり  
又、多くの蚕糸技術者を世に送り出してきた東京農工大学。  
蚕を想う者の ふるさと でもあります。  
この地よりいま一度 絹の文化を発信していきたいと思ひます。

## 展示

1階展示室

東京シルクを使った会員の作品  
蚕品種別繭・真綿・糸など  
パネル・写真(養蚕の実際など)

## 実演 ワークショップ

1階展示室

糸を繰る 紡ぐ 真綿をつくる 編む  
組紐(クテ打・三打・籠打) 織る 手描き友禅

## シンポジウム「蚕糸絹文化の再生と展望」

10月26日(土)12:45～16:20 3階講堂

主催：東京シルクの会・多摩シルクライフ21研究会 共催：大日本蚕糸会

### ○基調講演 「和文化の再生と展望」

メトロポリタン美術館終身名誉会員 梶谷宣子 氏

自由学園高等学校ではパウハウス系の西洋手織物を、卒業後はアメリカの機能的な手織物を学んだ。1966-2003年は、メトロポリタン美術館で染織品保存部の創設に携わり、館蔵染織品の鑑定、修復、保存、展示を担った。繊維材料と染織技法の観点から、染織文化の発生と派生を各地域の地勢の特徴による繊維の供給と、その地の民族の必需繊維製品と製織可能技法を探る。2005年から日本で未完の課題に勤む。



### ○シンポジウムパネラー

「物語性ある良いものづくりに向けた温故知新」

大日本蚕糸会蚕業技術研究所前所長 井上 元

「蚕を飼う」 養蚕家 小谷田昌弘

「八王子の養蚕」 若手養蚕家 長田 誠一

「八丁式張り撚りと黒八丈染」 撚糸業 森 博

「八王子・みささ手織工房と共に40年」 染織家 森久保雅子

「耐放射線素材で織る 仕上げは蚕」 染織家 矢村 璋子

「絹製品の新しい流通」 呉服商 内海 康治

○座長 古典織物研究家 中島 洋一

### 同時開催

今回特別にご協力いただきました！

### 科学博物館 見学ツアー

学生団体「musset」が館内をご案内。ロビーに集合、所要時間約1時間。実際に機械を動かしてくれるのでとても楽しいです。世界にゴッホにしかないものがあるところがあります。ぜひ参加してください。お子様大歓迎！(参加無料・予約不要)



### ◆東京農工大学の科学博物館展示内容

- 鈴木コレクション「蚕織錦絵」の展示
- 繭・絹糸標本の展示
- 製糸・機織などの大型機械の展示と実演
- 東京農工大学の歴史



### 絹の音

### コンサート

10月27日(日)13:00より

科学博物館3階講堂

第1部 G2us(ジーナス) マサ大家&高谷秀司

第2部 シューベルツ.COM(おちゆうじ&PAPAS瀬太)

和楽器に使われる絹の糸で奏でる名曲の数々。日本古来から伝わる絹の音の魅力を世界で活躍しているユニットが演奏してくれます。親しみやすい曲もたっぷり。ぜひ聴きにきてね。

協力:ミュージックシルクロード・鳥羽屋

主催:多摩シルクライフ21研究会・東京シルクの会

共催:東京農工大学科学博物館・大日本蚕糸会(シンポジウム)

協力:ミュージックシルクロード・鳥羽屋/後援:小金井市・小金井市教育委員会

多摩シルクライフ21研究会とは

当研究会は東京の繭から生まれた絹づくりをモットーに蚕糸・絹づくり技術、地域文化の伝承を行い、もって東京の蚕糸・絹文化の発展に寄与することを目的として平成7年に設立されました。養蚕、製糸、染織、精練、各種加工、流通など絹に関わる多くの人によって組織され、蚕糸絹業に関わる大学、試験研究機関と連携して活動しております。

## 展 示

研究会メンバーによる東京シルクを使った作品の一部を紹介展示します。制作者の苦労話も聞けます。

- 草木染の月明織着物
- 元地龍鳳凰宝尽くし文錦の復元作品  
イザベラ・スチュアート・ガードナー美術館  
[アメリカボストン市]所蔵
- しじら織着物
- 草木染の細織着物
- 草木染の緋織着物
- きのこ染、貝紫染の佐賀錦帯
- 古代甲冑の組紐復元作品
- 黒八丈作品
- 手描友禅の作品
- つづれ織の帯
- 小袖
- タペストリー
  - i 騎馬図; 福島県双葉町の装飾古墳の部分図
  - ii よろけ織の昼夜織作品
  - iii 綾地異方綾文様織作品
  - iv 羅織り作品
- 和洋装品、小物類、その他
  - i 手紡ぎ糸の洋服地
  - ii 手紡ぎ糸のショール多数
  - iii 後染ショール多数
  - iv バッグ v 装飾品 vi 帯 vii 衝立
- 真綿加工成品  
ふとん、ベスト、マフラー他

## 実 演

毎回好評です！研究会メンバーの実演です。  
今回初の大変貴重な実演もいたします。

- ◆今回初 クテ打ち技法による古代甲冑のくみ紐
- ◆今回初 三打のブレーダーを動かして極細のくみ紐をつくる
- ◇籠打組みによるくみ紐
- ◇手描き友禅
- ◇繭から糸を繰る
- ◇真綿をつくる
- ◇真綿から糸を紡ぐ
- ◇真綿のうたたねふとん作り
- ◆佐賀錦のセット展示

## ワークショップ

研究会メンバーの指導のもと参加者が体験できる毎回とても人気のコーナーです。事前予約不要ですが材料費は実費がかかります。

- ☆草木染めのブローチづくり (くみ紐)
- ☆ストラップづくり (くみ紐)
- ☆コースターづくり (東京シルクの糸を使用)

# 守りたい。東京の、日本の絹。

## ◆特別展示◆

「伊勢の神宮」では今年の10月に第62回式年遷宮（20年に一度社殿を造り替える行事）が行われます。当研究会では式年遷宮に際して平成17年より養蚕、製糸に関わり御料帛を奉製し御献納致しました。その御料帛が内宮別宮月讀宮の御神宝「青纈縹綿御衣」として、この度奈良の正倉院により見事に染織が施されました。そこで今回神宮造営廳の特別のご許可を戴き、一部を写真にて展示いたします。



**入場無料**

## 絹の音コンサート

10月27日(日) 科学博物館3階講堂にて



絹糸をアコースティックギターなどに使用。日本古来から伝わる独特の甘い色気のある絹弦の音の魅力を紹介！

**第1部 13:30-14:15 開場13:00**

演奏：G2us (ジーニアス)  
マサ大家&高谷秀司

**第2部 14:15-15:15**

演奏：シューベルツ.COM  
おちゆうじ&PAPAS源太

●ギターユニット「G2us」。ヨーロッパ、アメリカなどの有名な演奏家と共演。国内でも尺八の人間国宝山本邦山氏と出雲大社の大遷宮奉納での演奏は記憶に新しい。日本古来の「和」の魅力積極的に海外に広め、話題沸騰！

●「シューベルツ.COM」は、元「はしだのりひことシューベルツ」のメンバーおちゆうじが、朋友PAPAS源太と結成した新ユニット。「風」「さすらい人の子守唄」「イムジン河」などの大ヒット曲や、最新曲も多数披露。軽快なトークもあり、必見！

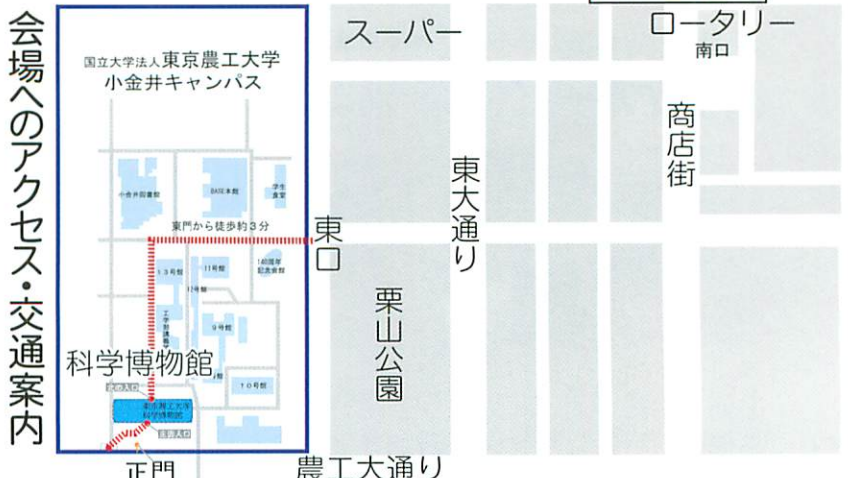
○協力：ミュージックシルクロード <http://music-silkroad.jp.org/>  
邦楽器糸製造卸業 鳥羽屋 <http://www.tobaya.co.jp/>



生きた蚕も出演!!

JR中央線

東小金井駅



※詳しくは東京シルクの会で検索

◆JR中央線東小金井駅南口徒歩一〇分